

な か ま

発行
佐倉市立中央公民館
な か ま 編 集 係

〒285-0025
佐倉市 錦木町 198-3
電話 (043) 485-1801

2 ページ	防災訓練	金井 義彰	少しのボランティア	岡部 和子
3 ページ	起立! 礼・着席	高橋加津恵	ハクウンボクの精	村田 長保

新春 雑 感

猪瀬 信彦

二〇〇九年、佐倉の三が日は晴天に恵まれ、我が家は平穩な正月を迎えることができた。だが、父の喪中のため年賀状はなく、淋しい正月ではあった。二日に息子夫婦が訪れ、八か月の孫を抱いて麻賀多神社への初詣が、唯一、正月の楽しいできごとであった。

去年は、米国発金融危機の拡大に端を発して、景気後退、ガソリンの乱高下、株価急落、円高不況が顕著になり、国内では、ねじれ国会に嫌気をさせた首相の交代、深刻な雇用不安、年金・医療・食品不信の拡大など数えればきりがなほいほど暗いニューズばかりの一年であった。一国ではどうにもならないこともあるが、これまででない政治の混乱とリーダー不在が原因と感ずる方は多いのではないかと、元旦の朝日新聞「天声人語」は「英雄のいない時代は不幸

だが、英雄を必要とする時代はもつと不幸だ」と言っていた。この言葉は日本の状況を言い当てていると一人うなずいた。

今私は、心に響く言葉が言えるリーダーの出現を待ち焦がれている。心に響く言葉を発し、夢のあるビジョンを語るリーダーには「それは夢だ」と思いながらも国民はついていくものだ。

一九六一年、ケネディ大統領の就任演説の有名な一節。「我が同胞のアメリカ人よ、あなたの国家があなたのため、に何をしてくれるかではなく、あなたがあなたの国家のため、に何が出来るかを問おうではないか。我が同胞の世界の市民よ、アメリカがあなたのため、に何をしてくれるかではなく、われわれと共に人類のために何が出来るかを問おうではないか」

この演説でケネディ大統領は世界の英雄になったと教わった。リーダーからのこんな呼びかけを聞けば、私は国家に何もできないまでも、「これからの時代を担う子供たちや、市民には何かできるのでないか。何かしなければいけないのではないか」と思わずに居られない。

一月二十日にオバマ新大統領が就任する。他国の大統領ではあるが、歴史に残る名言を発してくれるはずと心待ちにしている。

私は今、佐倉市民カレッジ一年生である。カレッジの運営やカリキュラムの内容は、想像していた以上に充実している。そして何より、五十人の同級生は、それぞれ個性があり、それぞれ人生を重ねた方々である。職場を離れてから多くのすばらしい友人を得ることができた喜びは大きい。こんな方々と手を携えていけば何かできるのでないかとあらためて新春に思った。

(編集委員)

防災訓練



先日、自治会の自主防災訓練に参加した。会場は近くの学校の構内で、訓練の内容は避難と救急救命、それに炊き出しであった。

救急救命訓練は、まずは、消防署の職員の人から心肺蘇生とAEDの使用法について練習用の人体模型を使って実演を交えながら説明が行なわれ、次いで希望者が模型を使って心臓マッサージの練習をした。

心肺蘇生は、以前訓練を受けたことはあるが、AEDは実物に接したのははじめてであった。仕組みや操作法はわかかったが、いざというとき巧くやれるかどうかちょっと心配になった。機会があればもっと訓練を受けたいと思った。炊き出し訓練は、サバメシをつくるというので鯖の入っ

たご飯をつくるのかと思っていたら、サバメシとはサバイバルメシのこと。一人ずつ、アルミの空き缶、二個を利用して作った飯盒と竈かまどを使ってご飯を炊く。燃料は、牛乳パックを短冊形に細かく切ったもの。

準備はすべて役員の人たちがやってくれていた。炊き方は、飯盒に一人分のお米を入れ水洗してから水を張り、アルミ箔できつちり蓋をする。地面に置いたコンクリートブロックのうえに竈を据え、その上に飯盒を重ねて竈で燃料を燃やす。

燃料はひつきりなしに加えないとすぐ燃えきってしまう。加え方が拙かったのか煙つてしまい目が痛くなった。それでも燃料を使い切ると、うまい具合にご飯がふっくらと炊けていた。

最後は美味しいカレーライスにして全員で楽しい会食となった。

(中志津 金井 義彰)

少しのボランティア

高齢社会を迎え核家族の現在、老々介護、認々介護、遠距離介護等いろいろな問題が出てきています。

私がボランティア活動を始めたのは十三年位前、特別養護老人ホームのデイサービスでのお手伝いでした。

主人と私の両方の両親は入院して一週間位で亡くなっており、介護の経験は全くありませんでした。老人ホームで接している中で親と同じ年齢の方達には父母を思いだす事もたびたびあり、本当に親のように思え、お世話する事が出来ました。その中で介護資格を取り、市の社会福祉協議会の訪問介護員として五年間、福祉の仕事をしていました。退職してからは、私事で忙しくして福祉の世界からは一時離れていました。

昨年の春に元社協時代の仲間達と「ゆう・愛」というボ

ランティアグループを立ち上げました。「ゆう・愛」はユイ・アンド・アイからもじりました。又、友の愛の「友愛」と優しい愛の「優愛」にも繋がり、アイは漢字に変わりました。活動内容は通院介助、話し相手、車椅子での散歩等で、介護保険法の枠外で必要とされる支援を無償で行っています。

私達も今、元気と思っても明日はわかりません。私は昨年夏に手首を骨折してしまい、まさか自分がこんな不自由な思いをするとは思っていませんでした。元気なうちにお手伝いが出来るところはと思い、少しボランティアの活動をしています。

(梁井野 岡部 和子)



起立！礼・着席

仕事柄、中学生や高校生、大学生などを対象に、講演やセミナーを行う機会がある。

中学校や高校では、「起立！礼・着席」と昔なつかしい号令がかかる。

講師の目を見て挨拶をする生徒もいるが、中には、面倒くさそうに、ダラダラとした態度の生徒や、隣同士おしゃべりをしながら、殆ど挨拶をしない生徒など、授業を受け心構えが見られないこともある。大学にいたっては、いきなり講義が始まる。

小学校に入学後、長期に亘り、軍隊さながらの号令で挨拶をすることを習慣としてきた子供達。就職活動の直前になって、マナー講習を受講する生徒、学生は非常に多い。日頃の習慣として幼いころから身につけていれば、直前に慌てる必要もないだろう。

特定の職種を除き、号令を

かけて挨拶する場面があるだろうか。

挨拶は、人間関係の第一歩である。挨拶をすることで、互いの距離が縮まり、その後の人間関係をスムーズにする。学校での挨拶を、右へ做えの挨拶ではなく、意欲や感謝の気持ちを表現することで、社会でも通用する挨拶に変えてみてはどうだろうか。

先生や講師が入室すると同時に、全員が起立する。目を見て「よろしくお願ひします」と、互いに挨拶を交わしてからお辞儀をする。終了時には「ありがとうございます」と目を見て挨拶とお辞儀をする。簡単なようではあるが、表情や声の大きさ、視線など、コミュニケーションツールを効果的に使わなければ、相手には伝わらない。心と心を通わせて、互いの気持ちを伝えることが大切である。

(白銀 高橋加津恵)



ハクウンボクの精

五月末頃、勝田台駅北口から十分程の「黒沢の森」(？) 正式名は知りません) を散歩しました。

ちょうどハクウンボクらしい白い花が満開で、地面に落ちた五弁の花が淡雪のようでした。上を見上げると五メートル程の高い所にいっぱい花をつけていますが、緑の中の白なので余り目立ちません。ハクウンボクがエゴノキか、どちらかなと思いつつ進んで行くと、案外低い所にも花がついていて、思わず一挙手折ってしまいました。

近くにカフェがあったので、少し本でも読もうと入りました。花を枯らしてはいけな思ったので、テーブルの上のおひやのグラスに差しおきました。

暫くすると可愛いウエートレスが「こちらをお飲み下さい」と別のグラスを持ってき

てくれました。カフェで出してくれたおひやのグラスに勝手に花を生けて、キザなオヤジと胡散臭い目で見られるのではないかと、なるべくウエートレスと眼を合わさない様子。ずーっと下を向いて本を読んでいたのです。

ところが若い彼女、ちゃんと花の存在を認めてくれて、更に別の飲むための水も持ってきてくれたのです。白い花の爽やかさがそのまま若い彼女に乗り移ったという感じですよ。

会計の時も彼女だったので、礼を言おうかその前にあの花の名を訊ねようかと迷っているうち、つい何も言わず店を出てしまいました。やはり胡散臭いオヤジ！

(新白井田 村田 長保)



2月の黒板

平成20年度地域づくり入門講座

「裁判員制度～もしもあなたが選ばれたら」

[日 時] 平成21年2月22日(日)

13時30分～15時30分

[講師] 東洋大学 黒沢 香 教授

[内 容] 裁判員制度についての理解を深める

～導入目前を控えて不安を払拭～

誰もが参加する可能性があるということ

[場 所] 佐倉市立中央公民館 学習室3

[定 員] 先着100名

[費 用] 無料

[お申し込み・お問い合わせ]

佐倉市立中央公民館へお電話で 485-1801

URL <http://www.city.sakura.lg.jp/kominkan/cyuou/index.htm>



わくわく道

一昨年の秋、友人から、オキナワスズメ瓜(野草のカラス瓜に似たもの)を頂きました。蔓性でうずら玉子ほどの赤い実には、白い模様があり、めずらしく、実に可愛い。玄関に飾り楽しんだあと種を採取して、昨年の三月、種を蒔きました。気候不順などで、発芽が遅れ、心配しましたが、気温の上昇と共に、苗は育ち、蔓も伸び、七月には三ツルほど

あとがき

暗いニュースに明け暮れた二〇〇八年が幕を閉じ、新しい年に夢を託したいところですが、まず自分たちで出来ることを見つけて始めることが大切なかもしれませぬ。高齢社会になって、防災訓練は自治会の重要課題となりつつあるようですが、私たちもボランティア活動に関心をもち、弱者に手を差し伸べる心を持ちたいものです。

になり、観察してみると、小さく目立たない黄色い花から次々と可愛らしい緑の実がつかまりました。米粒ほどの種からとは思えない成長ぶりです。八月下旬頃から実は赤へと、ゆつくりと色変わりし、我が家に小さな秋を届けてくれました。九月末、蔓をカットして、今も室内に飾り楽しんでます。



(横山 三寿)

ご指摘のように、心のこもった挨拶とお辞儀は簡単なようで何と難しいことか・・・。しかしこれは若い人のみならず、我々ひとりひとりが原点に戻って、反省すべきことかなと思います。心と心を通わせて互いの気持ちを伝えることができたなら、凶悪な犯罪や事件は減少するのではないでしょうか。

「ハクウンボクの妖精」の存在が信じられる明るい社会を切望したいところです。

(伊藤由紀子)